平成26年第2回紀の川市議会定例会 第1日

平成26年6月6日（金曜日）

開 議 午前 9時29分

散 会 午前10時33分

◎議事日程（第1号）

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（紀の川市税条例等の一部改正について）
- 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて（紀の川市都市計画税条例等の一部改正について）
- 報告第3号 専決処分の承認を求めることについて（紀の川市国民健康保険税条例の一部改正について）
- 報告第4号 専決処分の承認を求めることについて（平成25年度紀の川市一般会計補正予算（第5号））
- 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推選について
- 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 議案第69号 最上、神田、市場、元財産区管理委員の選任について
- 議案第70号 調月財産区管理委員の選任について
- 議案第71号 調月財産区管理委員の選任について
- 議案第72号 調月財産区管理委員の選任について
- 議案第73号 調月財産区管理委員の選任について
- 議案第74号 調月財産区管理委員の選任について
- 議案第75号 調月財産区管理委員の選任について
- 議案第76号 調月財産区管理委員の選任について
- 議案第77号 工事請負契約の締結について（麻生津簡易水道区域拡張（その1）工事）
- 議案第78号 紀の川市税条例の一部改正について
- 議案第79号 平成26年度紀の川市一般会計補正予算（第1号）について
- 議案第80号 平成26年度紀の川市調月財産区特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第81号 訴えの提起について
- 議案第82号 紀の川市道路線の認定について

議案第83号 紀の川市道路線の廃止について

◎本日の会議に付した事件

議事日程（第1号）のとおり

出席議員（21名）

1番 並松八重	2番 太田加寿也	3番 船木孝明
4番 中尾太久也	5番 仲谷妙子	6番 大谷さつき
7番 石脇順治	9番 榎本喜之	10番 坂本康隆
11番 亀岡雅文	12番 村垣正造	13番 竹村広明
14番 杉原勲	15番 西川泰弘	16番 堂脇光弘
17番 室谷伊則	18番 上野健	19番 石井仁
20番 川原一泰	21番 森田幾久	22番 高田英亮

○欠席議員（1名）

8番 中村真紀

○説明のために出席した者の職氏名

市長	中村慎司	副市長	田村武
市長公室長	林信良	企画部長	上山和彦
総務部長	竹中俊和	市民部長	中邨勝
地域振興部長	宇田美千子	保健福祉部長	服部恒幸
農林商工部長	岩坪純司	建設部長	福岡資郎
国体対策局長	畑野孝典	会計管理者	吉田靖
水道部長	田村佳央	農業委員会事務局長	米田昌生
教育長	松下裕	教育部長	山本弘茂
総務部財政課長	杉本太		

○議会事務局職員

事務局長	城山義弘	議事調査課長	中野朋哉
議事調査課課長補佐	田中啓吾	議事調査課係長	藤田郁也

（開会 午前 9時29分）

○議長（高田英亮君） おはようございます。

議員各位には、平成26年第2回紀の川市議会定例会に出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

本定例会には、条例の改正や補正予算などの案件が上程されております。議員各位の御協力のもと、円滑な議会運営に努めますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、8番 中村真紀君より、所用のため本定例会会期中の会議を全て欠席したい旨の届け出がありましたので、報告いたします。

議事に入る前に、表彰状伝達式をとり行います。

去る5月28日に開催されました第90回全国市議会議長会総会において、佐藤祐文会長より、村垣正造君が、議員在籍15年以上表彰を、西川泰弘君が、正・副議長4年以上表彰を受けられました。なお、私も、正・副議長4年以上表彰を受けておりますので、御報告します。

ただいま名前をお呼びした議員は、前のほうへお越しく下さい。

〔議長から、村垣議員、西川議員に表彰伝達〕

〔拍手〕

○議長（高田英亮君） 次に、5月23日に開催されました和歌山県市議会議長会総会において、山田好雄会長より、堂脇光弘君、杉原 勲君、森田幾久君が議員在籍10年以上一般表彰を、西川泰弘君が正・副議長4年以上特別表彰を受けられましたので、ただいまから表彰状の伝達を行います。

ただいま名前をお呼びした議員は、前のほうへお越しく下さい。

〔議長から、堂脇議員、杉原議員、森田議員、西川議員に表彰伝達〕

〔拍手〕

○議長（高田英亮君） 以上で、表彰伝達を終わります。

受賞された皆さん、まことにおめでとうございました。

○議長（高田英亮君） それでは、地方自治法第113条の規定による定足数に達しておりますので、これより平成26年第2回紀の川市市議会定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

議事に入ります。

議事日程は、お手元に配付しているとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（高田英亮君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、5番 仲谷妙子君、6番 大谷さつき君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（高田英亮君） 次に、日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

去る5月26日に議会運営委員会を開催していただき、本定例会の会期と議会運営について御協議いただいております。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、お手元に配付している予定表のとおり、本日から6月27日までの22日間といたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、本定例会の会期は、本日から6月27日までの22日間に決定いたしました。

日程第3 諸般の報告

○議長（高田英亮君） 次に、日程第3、諸般の報告を行います。

まず、報告1、執行部より、地方自治法180条第2項の規定に基づき、「市長の専決処分事項について」報告がありました。

また、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、「平成25年度紀の川市繰越明許費繰越計算書」と、地方自治法施行令第150条第3項の規定に基づき、「平成25年度紀の川市事故繰越計算書」の提出がありました。

また、地方公営企業法第26条第3項の規定に基づき、「平成25年度紀の川市水道事業会計予算の繰り越し報告」と、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、「紀の川市土地開発公社の経営状況を説明する書類」の提出もありましたので、後ほど配付させていただきます。

報告2、その他の報告につきましては配付しているとおりですので、確認をお願いいたします。

以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（紀の川市税条例等
の一部改正について） から
議案第83号 紀の川市道路線の廃止について まで

○議長（高田英亮君） それでは、日程第4、報告第1 専決処分の承認を求めることに

ついて（紀の川市税条例等の一部改正について）から議案第83号 紀の川市道路線の廃止についてまでの21件を一括議題といたします。

提出者に提案理由の説明を求めます。

市長 中村慎司君。

○市長（中村慎司君）（登壇） おはようございます。

本日、平成26年第2回紀の川市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には何かと御多用にもかかわらず、御参集をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、ただいま表彰伝達を受けられました議員の皆様には、本当におめでとうございませう。市民の皆さんとともに喜び申し上げたいと思います。これからも引き続き、市民の皆さんの代表として、御活躍を御祈念申し上げます。

さて、先日の雨で多少涼しくはなったものの、5月から異常とも言える猛暑が続いております。全国的にも、熱中症で倒れられた方も数多くおられます。このような時期に招集させていただきました6月定例会、議員各位におかれましては、体調管理を十分注意され、よろしく願い申し上げます。

それでは、今定例会に御提案いたしました諸議案について、概要説明をさせていただきます。

議案は、専決処分に係る報告議案、4議案、諮問、2議案、財産区に係る人事議案、8議案、工事請負契約の締結に係る議案、1議案、条例の一部改正に係る議案、1議案、平成26年度各会計補正予算に係る議案、2議案、訴えの提起に係る議案、1議案、市道路線の認定・廃止に係る議案、2議案、計21議案であります。

その概要を申し上げます。

報告第1号から報告第4号の専決処分の承認を求めることについては、報告第1号 紀の川市税条例等の一部を改正する条例について及び報告第2号 紀の川市都市計画税条例の一部を改正する条例については、地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行の規則及び航空機燃料譲与税法、施行規則の一部を改正する省令の公布及び施行に伴い、所要の改正を行うものであります。

報告第3号 紀の川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例については、地方税法施行令の一部を改正する政令の公布及び施行に伴い、所要の改正を行ったものであります。

報告第4号 平成25年度紀の川市一般会計補正予算（第5号）については、歳入の確定に伴う財源調整により、歳出予算額に1,000円を減額補正したものであります。

以上、報告第1号から報告第4号までの専決議案4件については、それぞれ緊急を要し、議会を招集する時間的余裕がなかったため、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分を行ったものであります。

諮問第1号から諮問第2号までの人権擁護委員候補者の推薦については、紀の川市人権擁護委員のうち、2名が平成26年9月30日に任期満了となるため、^{とまつきょうこ}富松京子君及び^{もりもと ひろし}森本 廣君を推薦いたしたく、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見

を求めるものであります。

議案第69号の最上、神田、市場、元財産区管理委員の選任については、最上、神田、市場、元財産区管理委員が、平成26年2月28日をもって辞任されたため、委員を選任いたしたく、最上、神田、市場、元財産区管理委員会条例第3条の規定により、議会の同意を求めるものであります。

議案第70号から議案第76号までの調月財産区管理委員の選任については、調月財産区管理委員が、平成26年6月30日任期満了となるため、7名の委員を選任いたしたく、調月財産区管理委員会条例第3条の規定により、議会の同意を求めるものであります。

議案第77号 工事請負契約の締結については、平成26年5月13日、紀の川市財務規則第108条第2項の規定に基づき、条件付一般競争入札に付した麻生津簡易水道区域拡張（その1）工事の請負契約の締結については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2号の規定により、議会の議決を求めるものであります。

議案第78号 紀の川市税条例の一部改正については、地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴う軽自動車税の税率の改正及び法人税割の税率を制限税率とし、中小法人等に対しては不均一課税とすることで、財源を確保するため条例の一部を改正するものであります。

議案第79号 平成26年度紀の川市一般会計補正予算（第1号）についてから、議案第80号 平成26年度紀の川市調月財産区特別会計補正予算（第1号）についてまでの2議案については、事業執行上緊急を要する事業を補正予算措置するものであります。

議案第81号 訴えの提起について。市営住宅を明け渡さず転出した入居名義人に対して、未払い使用料の支払いと明け渡しを求める訴えを提起するため、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めるものであります。

議案第82号 紀の川市道路線の認定については、河川敷堤防道路を紀の川市道路線として認定いたしたく、提案するものであります。

議案第83号 紀の川市道路線の廃止については、市道路線の認定により、重複する紀の川市道路線を廃止いたしたく、提案するものであります。

以上、議案の概要説明を申し上げましたが、引き続き、担当部長から詳細説明をいたしますので、御審議の上、御同意、御可決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（高田英亮君） 続いて、補足説明を求めます。

総務部長 竹中俊和君。

○総務部長（竹中俊和君）（登壇） おはようございます。

専決処分について、報告第1号から報告第4号まで、いずれも地方自治法第179条第1項の規定より専決したので、同条第3項の規定により報告し、御承認を求めます。

専決日は、いずれも平成26年3月31日です。

それでは、2ページ、お願いいたします。

紀の川市税条例等の一部を改正する条例につきましては、先ほど市長が申し上げた理由

により、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をしたものです。

3ページから7ページにかけまして、本文及び附則の改正につきましては、平成26年度税制改正によるもので、一つは、固定資産税特例措置として、新築住宅に係る固定資産税の税額の軽減措置を2年延長。二つ目に、耐震改修が行われた既存建築物に係る固定資産税の税額の減額措置を創設。三つ目に、公害防止施設設備に係る固定資産税の特例措置等にわがまち特例が導入されることにより、関連する条文を整備し、附則で、それぞれの施行日及び経過措置を定めております。

続きまして、8ページお願いいたします。

報告第2号 紀の川市都市計画税条例の一部を改正する条例につきましては、専決の理由は、報告第1号と同じ理由でございます。

10ページをお願いします。

今回の改正につきましては、「都市再生特別措置法」が改正されました。この法律は、地方都市での商業施設などをまちの中心部に集め、人口減や財政難に直面している地方を持続可能なまちづくりのため後押しをする法律でありまして、この法律の改正に伴い、関連する条例の整備を行うものでございます。

附則で、施行期日と経過措置の規定をしています。

報告第1号及び報告第2号の資料として、37ページから60ページに新旧対照表を添付しておりますので、御高覧ください。

○議長（高田英亮君） 市民部長 中邨 勝君。

○市民部長（中邨 勝君）（登壇） おはようございます。

報告第3号 専決処分の承認を求めることについて、御説明申し上げます。

地方自治法第179条第1項の規定によりまして、紀の川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を別紙のとおり専決したので、地方自治法第179条第3項の規定により報告し、承認を求めるものでございます。

12ページをお願いします。

専決処分書でございます。専決理由といたしましては、地方税法施行令の一部を改正する政令の公布及び施行に伴い、紀の川市国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じましたが、緊急を要したため、地方自治法第179条第1項の規定により、平成26年3月31日に専決処分をいたしましたものでございます。

13ページの紀の川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例でございます。内容といたしましては、国民健康保険税の後期高齢者支援金等賦課額に係る賦課限度額を16万円に、介護納付金賦課額に係る賦課限度額を14万円に、それぞれ引き上げ改正を。また、軽減世帯の5割軽減、2割軽減の判定基準額を改正し、軽減の対象世帯を拡充するものでございます。

附則として、第1条は、施行期日を、第2条は、改正後の紀の川市国民健康保険税条例

の適用区分を定めるものでございます。

なお、61ページ、62ページに参考資料として、条例の新旧対照表を添付してございますので、御高覧いただきたいと思っております。

○議長（高田英亮君） 総務部長 竹中俊和君。

○総務部長（竹中俊和君）（登壇） 続きまして、14ページ、お願いいたします。

報告第4号 平成25年度紀の川市一般会計補正予算（第2号）について、専決処分をしたものでございます。

別冊の平成25年度紀の川市一般会計補正予算（第5号）をお開き願います。

まず、1ページ、お願いいたします。

第1条では、1,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を339億6,702万3,000円としております。

第2条は、繰越明許費補正に係る規定。

第3条は、地方債補正に係る規定です。

2ページ、3ページをお願いいたします。

第1表、歳入歳出予算補正のうち、歳入については、地方譲与税、各種交付金、地方交付税、繰入金、市債の確定による補正でございます。地方交付税につきましては、普通交付税で1,022万円の増額。特別交付税は8,556万1,000円の増額で、合わせて9,578万1,000円の増額。繰入金は、財政調整基金からの繰入金1億3,688万9,000円を減額。地方債につきましては、事業費の確定により7,020万円の減額としています。

4ページ、お願いいたします。

歳出につきましては、歳入の確定により、予備費で調整をして1,000円の減額をしております。

5ページをお開き願います。

第2表、繰越明許費の補正でございます。紀の海広域施設組合事業の繰越額を12億163万5,000円に増額をしています。

続きまして、次のページ、第3表、地方債補正でございます。それぞれの事業費の確定に伴いまして、限度額の変更を行っております。

以下、8ページから16ページまでにつきましては、補正予算（第5号）に関する説明書でございます。

以上、平成25年度一般会計補正予算（第5号）の内容でございます。御承認お願い申し上げます。

○議長（高田英亮君） 市民部長 中邨 勝君。

○市民部長（中邨 勝君）（登壇） それでは、諮問第1号から諮問第2号の人権擁護委員候補者の推薦について、御説明申し上げます。

議案書の16ページ、17ページでございます。

今回、人権擁護委員2名が、来る平成26年9月30日をもって任期満了となりますので、富松京子氏、森本 廣氏を人権擁護委員の候補者として再任の推薦をいたしたく、諮問するものでございます。

人権擁護委員法の規定により、市町村長はその市議会の意見を聞いて人権擁護委員の候補者を推薦しなければならないと定められており、これにより議会の意見を求めるものでございます。

諮問第1号につきましては、住所、紀の川市北勢田31番地1、氏名、富松京子、生年月日、昭和23年2月20日生まれ、66歳でございます。

諮問第2号につきましては、住所、紀の川市桃山町野田原1381番地、氏名、森本廣、生年月日、昭和25年9月3日生まれ、63歳でございます。

なお、任期につきましては、法務大臣が委嘱した日から3年となっています。

以上、諮問2件について、よろしくお願いいたします。

2名の略歴等につきましては、議案書63ページ、64ページに資料として添付してございますので、ごらんおきいただきたいと思います。

○議長（高田英亮君） 農林商工部長 岩坪純司君。

○農林商工部長（岩坪純司君）（登壇） おはようございます。

それでは、私のほうから、議案第69号から議案第76号までの2財産区の管理委員の選任8議案につきまして、一括して御説明申し上げます。

議案書18ページをお願いいたします。

議案第69号 最上、神田、市場、元財産区管理委員の選任についてでございます。

最上、神田、市場、元財産区管理委員に欠員が生じたことにより、西 宏明氏を最上、神田、市場、元財産区管理会条例第3条の規定により、議会の同意を求めます。

選任者につきましては、住所、紀の川市桃山町最上738番地2、西 宏明、昭和31年6月12日生まれ。

なお、任期につきましては、平成27年6月30日までの前任者の残任期間となっております。また、主な職歴等につきましては、議案書65ページに記載してございますので、ごらんおきいただきたいと思います。

続きまして、議案書19ページをお願いいたします。

議案第70号から議案第76号までの調月財産区管理委員の選任についての7議案につきましては、いずれも任期満了に伴うもので、調月財産区管理会条例第3条の規定により議会の同意を求めます。

7名の方々の住所、氏名、生年月日を申し上げます。

まず、議案第70号につきましては、住所、紀の川市桃山町調月228番地、氏名、藤岡正仁、昭和17年8月6日生まれ。

続きまして、20ページをお願いいたします。

議案第71号につきましては、住所、紀の川市桃山町調月152番地、氏名、加山隆彦、昭和21年2月17日生まれ。

続きまして、21ページをお願いいたします。

議案72号につきましては、住所、紀の川市桃山町調月1095番2、氏名、加山幹夫、昭和20年8月23日生まれ。

続きまして、22ページをお願いいたします。

議案第73号につきましては、住所、紀の川市桃山町調月1263番地、氏名、吉田光男、昭和21年6月25日生まれ。

続きまして、23ページをお願いいたします。

議案第74号につきましては、住所、紀の川市桃山町調月643番地、氏名、根来伸治、昭和40年3月22日生まれ。

続きまして、24ページをお願いいたします。

議案第75号につきましては、住所、紀の川市桃山町調月2339番地、氏名、岡野平、昭和20年3月21日生まれ。

続きまして、25ページをお願いいたします。

議案第76号につきましては、住所、紀の川市桃山町調月2582番地、氏名、岩本武久、昭和18年10月30日生まれ。

以上、7議案につきまして、議会の同意を求めるものでございます。任期につきましては、平成26年7月1日から平成30年6月30日までの4年間となっております。

また、7名の方々の主な職歴等につきましては、議案書の66ページ及び67ページに記載してございますので、ごらんおきいただきたいと思っております。

以上、合わせて8議案について、御同意賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（高田英亮君） 水道部長 田村佳央君。

○水道部長（田村佳央君）（登壇） おはようございます。

議案第77号 工事請負契約の締結について、御説明申し上げます。

議案書の26ページをお開きください。

平成26年5月13日、紀の川市財務規則第108条第2項の規定に基づき、条件付一般競争入札に付した麻生津簡易水道区域拡張（その1）工事について、下記のとおり請負契約を締結するため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

1、契約の目的は、麻生津簡易水道区域拡張（その1）工事。2、契約の方法は、条件付一般競争入札による契約。3、契約の金額は、4億759万2,000円、4、契約の相手方は、和歌山県紀の川市桃山町市場175、有限会社山田電業社、代表取締役 山田誠司です。

提案理由としましては、平成26年度簡易水道事業当初予算で議決を得ました麻生津簡易水道区域拡張（その1）工事について、5月13日、紀の川市本庁舎5階501会議室

において、5社による条件付一般競争入札を行ったところ、議案記載のとおりと決まりましたので、請負契約締結の議決を求めるものでございます。

なお、議案資料を68ページから69ページに添付しておりますので、御高覧をお願いいたします。

以上で、説明を終わらせていただきます。御審議、よろしくお願い申し上げます。

○議長（高田英亮君） 農林商工部長 岩坪純司君。

○農林商工部長（岩坪純司君）（登壇） 先ほどの御説明の中で、議案第71号の中で、氏名「かやまたかひこ」さんであるにもかかわらず、「かたやま」というような形で説明をさせていただきました。「加山隆彦」さんでございますので、訂正し、おわび申し上げます。

以上であります。

○議長（高田英亮君） 総務部長 竹中俊和君。

○総務部長（竹中俊和君）（登壇） それでは、議案書27ページをお開き願います。

議案第78号 紀の川市税条例等の一部改正について。紀の川市税条例等の一部を別紙のとおり改正するものとする。

28ページと29ページをごらんください。

今回の改正の主な内容は、地方税法等の改正に関連する法人市民税、法人税割の税率改正と不均一課税の導入及び軽自動車税の税率改正に伴う条文整備であります。

まず、法人市民税、法人税割の税率改正から御説明申し上げます。

合併前から、法人税割税率は標準税率を採用していましたが、今回制限税率に改正し、中小法人に対してはそのまま標準税率を適用するものです。

法人市民税は、黒字法人に負担を求めるものであり、今後法定実効税率が引き下げられることから、財源を確保することからも法人の規模に応じた税率の適用により応分の負担を担っていただくものであります。

なお、県下9市のうち、6市は制限税率を一部適用し、1市は制限税率を全ての法人に適用しております。

第34条の4中の標準税率100分の12.3を主要税法改正後の制限税率100分の12.1に改め、同条の次に、中小法人等に関する不均一課税、第34条の4の2を加えます。

中小法人等に対する不均一課税は、法人の資本金等の額が1億円以下で、法人税割の課税標準となる法人税額等が、年500万円以下の法人に対する法人税割の税率を100分の9.7とするものです。対象となる法人は、平成25年度申告法人の約82%です。

地方税法の改正に合わせて、平成26年10月1日の施行となります。

続いて、第82条の改正は、軽自動車税の税率改正です。

今回の税制改正により、消費税増税の影響で自動車取得税の縮小などから、昭和59年以来、31年ぶりの改正となっております。

主なものは、平成27年度以降に新規取得された軽四輪車等の税率を自家用乗用車は1.5倍の1万800円、自家用貨物車は1.25倍の5,000円に引き上げます。また、軽自動車税では、はじめて従価税率が導入され、初年度登録から13年を経過した車両については、標準税率の約1.2倍の重課税率とするため、附則第16条を改正して、平成28年度から適用いたします。二輪車等は約1.5倍、最低2,000円に引き上げ、50cc以下の原動機付自転車は2,000円となります。また、地方税法で規定されていない小型特殊自動車の税率については、今回の税率改正に合わせて、いずれも約1.25倍とし、農耕作業用で2,000円、その他で5,900円としています。この改正は、平成27年度以降に課税対象となる全ての二輪車等や小型特殊自動車に適用いたします。

附則につきましては、施行期日等経過措置を規定しております。

議案書の70ページから73ページに新旧対照表を添付しておりますので、御高覧いただきたいと思えます。

続きまして、32ページをお願いいたします。

議案第79号 平成26年度紀の川市一般会計補正予算（第1号）について、地方自治法第218条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

当初予算と同じく、議決事項と説明部分等分けてお渡しをしておりますので、よろしくをお願いいたします。

表題に、「補正予算書」と書いている別冊の1ページをお開きいただきたいと思えます。

平成26年度紀の川市一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。8,176万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額は321億6,176万6,000円となります。

続いて、2ページ、お願いします。

第1表、歳入では、国庫支出金、県支出金、繰入金、諸収入を増額補正しております。

続きまして、3ページ、4ページの歳出につきましては、各費目ごとに、人事異動に伴う人件費及び事業執行上、急を要する事業について補正措置をしております。

それでは、もう一つ、別冊の一般会計補正予算（第1号）に関する説明書のほうをごらんいただきたいと思えます。

3ページの歳入から御説明申し上げます。3ページの歳入です。

14款、国庫支出金、2項、国庫補助金、1目、総務費国庫補助金308万8,000円の増額。マイナンバー制度導入に係るシステム改修に係る国庫補助金です。

3目の衛生費国庫補助金124万9,000円、疾病予防対策事業費等補助金、働く世代のがん検診受診率の向上と乳がん、子宮頸がんといった女性のがん対策を図るための2分の1の補助金で、歳入のみの補正でございます。

次の15款、県支出金、2項、県補助金、2目、民生費県補助金43万2,000円、就労支援事業補助金、生活保護システム改修に係る補助金です。

5目、商工費県補助金230万7,000円、相談窓口の充実強化を図るため、県から

の100%の交付金であります。

3項、委託金、4目、教育費委託金、早期からの教育相談支援体制構築事業として、県からの100%の委託金です。

続いて、18款、繰入金、2項、基金繰入金、財政調整基金から5,902万6,000円の繰り入れをしております。

20款、諸収入、5項、雑入1,216万9,000円、コミュニティ助成事業助成金、地域活性化支援事業助成金、いずれもこのたび採択となりましたので、補正をしております。

続きまして、5ページ、お願いいたします。

歳出は、人件費と賃金以外について、主な補正の御説明をさせていただきたいと思っております。

6ページ、お願いいたします。

2款、総務費、1款、総務管理費、13目の電算管理費205万2,000円の増額。マイナンバー制度導入に係るシステム開発経費でございます。

次の8ページ。

2項、徴税費、2目、賦課費155万6,000円、この経費もマイナンバー制度導入に要するシステム改修費でございます。

続いて、14ページ、お願いします。

3款、民生費、2項、児童福祉費、1目、児童福祉総務費のうち、放課後児童健全育成事業111万5,000円の増額。学童保育の粉河アットホームクラブの利用児童数がふえたため、粉河小学校空き教室を一時使用するにあたり、健康管理面から教室にエアコンを設置する経費であります。

続いて、15ページ、お願いいたします。

3項、生活保護費、1目、生活保護総務費、就労支援事業43万2,000円の増額。生活保護制度改正に伴うシステム改修費であります。

続いて、19ページ、お願いいたします。

6款、農林業費、1項、農業費、3目、農業振興費126万9,000円の増額。財団法人地域活性化センターの100%の助成金を受けまして、紀の川市スマートファーム協議会に対する事業補助金であります。この協議会は、昨年5月に紀の川市、JA、近畿大学生物理工学部など5団体が、芋類を燃料とした発電実験を通して、電力の自給、サツマイモの販路拡大などを目的に設立されました団体です。

続いて、4目、農業振興施設費990万円の増額。100%のコミュニティ助成金を受けまして、青州の里ふれあい公園に健康遊具及び子ども向け遊具を設置する事業です。

続きまして、21ページ、お願いします。

7款、商工費、1項、商工費、1目、商工総務費のうち、消費者行政事業として224万7,000円の増額。県の100%の補助を受けて、消費者の安全と安心を確保するた

めの事業として、消費者被害を未然に防ぐための出張講座などを開催いたします。

続きまして、26ページ、お願いします。

9款、消防費、1項、消防費、4目、消防施設費100万円、この事業も、100%のコミュニティ助成事業の採択を得まして、デジタル無線機1式を支所等に設置する事業でございます。

最後に、27ページ、お願いします。

10款、教育費、1項、教育総務費、3目、教育諸費、就学支援対策構築事業349万5,000円、この事業は県のモデル事業として100%の委託金を受けまして、就学前の障害のある園児とその保護者にコーディネーターによるサポートを行うことで、早期からの支援体制を整えていく事業でございます。

以上が、今回の補正の主な内容です。御審議、お願い申し上げます。

○議長（高田英亮君） 農林商工部長 岩坪純司君。

○農林商工部長（岩坪純司君）（登壇） 議案書33ページの議案第80号 平成26年度紀の川市調月財産区特別会計補正予算（第1号）につきまして、御説明申し上げます。

別冊の補正予算書をお願いいたします。

補正予算書の5ページをごらんいただきたいと思います。

第1条、歳入歳出予算の補正ということで、当初予算額に歳入歳出それぞれ198万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を248万9,000円にするものでございます。

また、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものでございます。

恐れ入ります。別冊の補正予算（第1号）に関する説明書、事項明細書をお開きいただきたいと思います。

事項別明細書3ページ、歳入、4ページ、歳出に予算計上していますとおり、市道調月三和線道路新設改良工事に伴い、財産区所有地2筆の一部、合わせて2,845.13平方メートルを市に売却した収入244万6,000円を歳入予算に計上した上で、財源不足を財政調整基金からの繰入金で処理していたものを解消いたしまして、歳出予算でその差額198万9,000円を新たに財政調整基金に積み立てるものでございます。

以上が、補正予算の内容でございます。御審議の上、御可決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（高田英亮君） 建設部長 福岡資郎君。

○建設部長（福岡資郎君）（登壇） それでは、議案第81号から議案第83号までの3議案について、御説明申し上げます。

まず、議案第81号につきましては、議案書34ページをごらん願います。

議案第81号 訴えの提起について。

市営住宅の未払い使用料及び市営住宅明け渡しの請求について、次のとおり訴えを和歌山地方裁判所に提起するので、地方自治法の規定により議決を求めるものでございます。

記といたしまして、1、訴えの相手方、_____
_____でございます。2、訴えの趣旨、市営住宅の未払い使用料の支払いと住宅明け渡しの判決を求めるものでございます。3、訴え遂行の方針、弁護士を訴訟代理人に選任し、訴えを遂行するものでございます。

次に、議案第82号 紀の川市道路線の認定について、御説明申し上げます。

議案書35ページをごらん願います。

道路法第8条第2項の規定により、紀の川市道路線を認定するため、議会の議決を求めるものでございます。

認定路線につきましては、2路線とも国交省の貴志川堤防強化工事により整備された堤防天端でございます。左岸側を整理番号1、中80号線として、また右岸側を整理番号2、東130号線として認定するものでございます。

次に、議案第83号 紀の川市道路線の廃止について。

議案書36ページをごらん願います。

道路法第10条第3項の規定により、紀の川市道路線を廃止するため、議会の議決を求めるものでございます。

廃止路線につきましては、前の議案第82号のうち、中80号線の路線認定に伴い、重複する整理番号1、中71号線を廃止するものでございます。

議案第82号及び議案第83号の資料といたしまして、74ページから75ページに位置図を添付してございます。

以上、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（高田英亮君） ほかに、補足説明はございませんか。

〔「補足説明なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） なければ、提案理由の説明を終わります。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております日程第4のうち、諮問第1号、諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦についてと議案第69号から議案第76号の各財産区管理委員の選任についての計10件につきましては、人事に関する案件でありますので、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託、討論を省略し、本日直ちに質疑、採決まで行いたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、諮問第1号、諮問第2号、議案第69号から議案第76号までの計10件については、本日直ちに質疑、採決まで行うことに決しました。

まず、諮問第1号、諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について、質疑、採決を行います。

これより、諮問第1号、諮問第2号に対する一括質疑を行います。

質疑、ありませんか。

〔「質疑なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 質疑なしと認めます。

それでは、質疑を終結します。

それでは、順次お諮りします。

諮問第1号について。

原案のとおり適任者とするに御異議ありませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、諮問第1号は、原案のとおり適任者とするに決しました。

続いて、お諮りします。

諮問第2号について。

原案のとおり適任者とするに御異議ありませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、諮問第2号は、原案のとおり適任者とするに決しました。

次に、議案第69号 最上、神田、市場、元財産区管理委員の選任について、質疑、採決を行います。

これより、本案に対する質疑を行います。

質疑、ありませんか。

〔「質疑なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終結します。

それでは、お諮りします。

議案第69号について。

原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第69号は、原案のとおり同意されました。

続きまして、議案第70号から議案第76号 調月財産区管理委員の選任についての質疑、採決を行います。

これより、議案第70号から議案第76号までの7議案に対する一括質疑を行います。

質疑、ありませんか。

〔「質疑なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終結します。

それでは、順次お諮りします。

議案第70号について、原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第70号は、原案のとおり同意されました。

続いて、お諮りします。

議案第71号について。

原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第71号は、原案のとおり同意されました。

続いて、お諮りします。

議案第72号について。

原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第72号は、原案のとおり同意されました。

続いて、お諮りします。

議案第73号について。

原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第73号は、原案のとおり同意されました。

続いて、お諮りします。

議案第74号について。

原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第74号は、原案のとおり同意されました。

続いて、お諮りします。

議案第75号について。

原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第75号は、原案のとおり同意されました。

続いて、お諮りします。

議案第76号について。

原案のとおり同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○議長（高田英亮君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第76号は、原案のとおり同意されました。

これをもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

本日は、これにて散会といたします。

6月10日火曜日、午前9時30分より再開いたします。

御苦労さまでした。

（散会 午前10時33分）